

宇土市地域婦人会連絡協議  
会の場合

宇土市婦人会の活動は多岐に渡っている。なかでも、特筆すべきは、青少年の健全育成をめざした「母の会」の存在だ。「母の会」は中高校生を持つ母親の集り、七校区ごと年二回開かれている。単に、母親だけの意見交換の場にとどまらず、通学圏に入る八代、熊本などの高校教師の積極参加も得て、学校、家庭、社会という三者運けの下に理想的な健全育成が図られている。

また、十六名の生活指導協力委員の活躍もめざましい。飲食店の調理場の衛生検査、食品の安全検査、計量検査の外、工場立入も実施、汚水処理方法や果ては婦人の労働条件の改善まで申し入れている。

他の事業として、五年前から始めた地区ごとの水質検査や農薬害調査、行政と商店街に対する苦情受付のための「みどりの箱」の設置など牧挙にとまがなない。いずれも問題が生活に直結しているだけに、婦人会の活動に対する市民の期待は大きいという。「私たちの活動ができるのも、これに賛同する市民と行政の対応があればこそ」と村田会長は語る。まさに、地域の中における婦人会のあるべき姿を見た思いがした。



▲井戸水の水質検査は保健所に依頼する。

▲生活指導協力委員の活動は、それが生活に直結しているだけに市民の期待は大きい。